



この1か月を振り返って

▼3 学期が始まって1か月が経とうとしています。昨年はちょうどこの時期に、県より「新型コロナウイルス感染拡大防止への特別要請」が発令され、本校でもクラスを分割し1学級増の特別編成で授業を行い、部活動も停止していました。▼その新型コロナウイルスも、最初に確認されてから丸3年が過ぎました。この間、本校でも保護者の協力を得ながら、感染防止に努め、感染を抑えることができました。しかし、世の中の流れがウィズコロナへと変わり、第8波では、より身近なところで感染が広がり、本校でも1月23日から3日間を、2学年を**学年閉鎖**にせざるを得ない状況になりました。深くお詫び申し上げます。▼このような中、2月1日、2日と**公立高校の前期入試**が行われ、本校からも3年生19名が受検しました。11月から準備を進め、放課後を中心に連日熱心に面接練習に取り組む姿が見られました。すでに私立高校では合格者も出ていますが、多くの生徒が、3月3日の公立後期入試を受検することになります。感染症対策に万全を期す中で、存分に力が発揮できるよう、最後まで全力で頑張ってもらいと思います。▼また2月2日(木)には、来年度の入学予定児童及び保護者を対象に「**入学説明会**」が3年ぶりに開催されました。来年度の入学生は58名を予定しています。私からは、本校の学校経営方針の説明とともに、令和6年度から導入予定の「ユニバーサル制服」についても、導入の意図や今後の進め方等について説明をさせていただきました。今後は、市川小と東小の5年生の保護者に対しても説明する機会を設ける予定です。

▼入学説明会に向けては、2年生が、会場の清掃や準備を全員が協力して行ってくれました。また1年生は、説明会の後半で、6年生に対して、学校生活についてスライドを使って説明したり、実際に校舎内を案内したりしてくれました。会の終了後には、6年生を引率してくれた小学校の先生方からは、1年生の成長ぶりに驚く声が寄せられました。



協働本部臨時総会

▼2月3日(金)市川中学校区の「地域学校協働本部」の臨時総会が行われました。この会には、本校からは校長、教頭、教務主任の3人が、PTAからは遠藤会長が参加しました。▼この会は、学校区内の地域と学校が連携・協働して、地域全体で、未来を担う子どもを支えるとともに、学校を核とした地域の活性化を図るボランティア活動を推進することを目的としています。▼本校の具体的な活動としては、1年生が5月に行った「手話学習」や11月に行った「青洲高校見学体験」、2年生が6月に行った「防災教育」、学校・家庭・地域連携協議会の活動として行った「花植え作業」などがあります。▼コーディネーターである元市川小校長の一瀬明仁先生からは、「花植え作業では、市川中の生徒が自らの考えで、クリーン活動も行ってくれた。」学校・家庭・地域連絡協議会の小林俊彦会長からは「今年の総会では、生徒と地域の方とで、有意義な話し合いがもてた。子供たちの社会貢献への強い意欲を感じ感心した。」などの声をいただきました。



サウス・ウインド・コンサート

▼2月5日(日)「サウス・ウインド・コンサート」が身延町総合文化会館で開催され、本校の吹奏楽部の生徒も、六郷中、増穂中、鰺沢中との4校合同で出演しました。▼この会は峡南地区の吹奏楽に携わる者が一堂に集まり演奏会を開き交流を深めるとともに、互いの技術の向上を図ろうとの趣旨で始まったそう、本校の吹奏楽部が土日を中心に指導していただいている市川三郷吹奏楽団や青洲高校の吹奏楽部も参加していました。生徒たちにとっては貴重な発表の場になったことと思います。

